

1章 正の数・負の数学習プリント⑤

ポイント（正の数・負の数の加法）

★同符号の2数の和 $(+)+(+)$, $(-)+(-)$

符号…

数字…

絶対値の和という

☆異符号の2数の和 $(-)+(+)$, $(+)+(-)$

符号…

数字…

絶対値の差という

例題 次の2つの数の加法において、 にあてはまる符号や数を入れなさい。

$$(1) \quad (+4) + (+2) = \boxed{} (\boxed{} + \boxed{}) \\ = \boxed{} \boxed{}$$

$$(2) \quad (-3) + (-6) = \boxed{} (\boxed{} + \boxed{}) \\ = \boxed{} \boxed{}$$

$$(3) \quad (+5) + (-2) = \boxed{} (\boxed{} - \boxed{}) \\ = \boxed{} \boxed{}$$

$$(4) \quad (-4) + (+8) = \boxed{} (\boxed{} - \boxed{}) \\ = \boxed{} \boxed{}$$

問1 次の計算をしなさい。

$$(1) \quad (+3) + (+3)$$

$$(2) \quad (-6) + (-2)$$

$$(3) \quad (+8) + (-1)$$

$$(4) \quad (-4) + (+5)$$

$$(5) \quad (-10) + (+6)$$

$$(6) \quad (+2) + (-7)$$

一度答え合わせをしてから問2へ進もう！

問2 次の計算をしなさい。

$$(1) \quad (-3) + (-4)$$

$$(2) \quad (-7) + (+5)$$

$$(3) \quad (+6) + (-1)$$

$$(4) \quad (+1) + (+4)$$

$$(5) \quad (-2) + (+2)$$

$$(6) \quad (-8) + 0$$

$$(7) \quad (-13) + (-6)$$

$$(8) \quad (-46) + (+37)$$

$$(9) \quad (+45) + (-74)$$

1章 正の数・負の数学学習プリント⑤解答

ポイント（正の数・負の数の加法）

★同符号の2数の和 $(+)+(+)$, $(-)+(-)$

符号… そのまま

数字… たし算

絶対値の和という

☆異符号の2数の和 $(-)+(+)$, $(+)+(-)$

符号… 数字の大きい方

数字… ひき算

絶対値の差という

角解説

★ $(+)+(+)=(+)$

★ $(-)+(-)=(-)$

覚え方「符号はそのまま，数字はたし算」

☆ $(-)+(+)=$ (数字の大きい方の符号) ☆ $(+)+(-)=$ (数字の大きい方の符号)

覚え方「符号は大きい勝ち，数字はひき算」

例題

角解説

$$\begin{aligned} (1) \quad (+4)+(+2) &= \boxed{+} \left(\boxed{4} + \boxed{2} \right) & (2) \quad (-3)+(-6) &= \boxed{-} \left(\boxed{3} + \boxed{6} \right) \\ &= \boxed{+} \boxed{6} & &= \boxed{-} \boxed{9} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad (+5)+(-2) &= \boxed{+} \left(\boxed{5} - \boxed{2} \right) & (4) \quad (-4)+(+8) &= \boxed{+} \left(\boxed{8} - \boxed{4} \right) \\ &= \boxed{+} \boxed{3} & &= \boxed{+} \boxed{4} \end{aligned}$$

問1

角解説

$$\begin{aligned} (1) \quad (+3)+(+3) &= +(3+3) & (2) \quad (-6)+(-2) &= -(6+2) & (3) \quad (+8)+(-1) &= +(8-1) \\ &= +6 & &= -8 & &= +7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad (-4)+(+5) &= +(5-4) & (5) \quad (-10)+(+6) &= -(10-6) & (6) \quad (+2)+(-7) &= -(7-2) \\ &= +1 & &= -4 & &= -5 \end{aligned}$$

問2

角解説

$$\begin{aligned} (1) \quad (-3)+(-4) &= -(3+4) & (2) \quad (-7)+(+5) &= -(7-5) & (3) \quad (+6)+(-1) &= +(6-1) \\ &= -7 & &= -2 & &= +5 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad (+1)+(+4) &= +(1+4) & (5) \quad (-2)+(+2) &= 0 & (6) \quad (-8)+0 &= -8 \\ &= +5 & & & & \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (7) \quad (-13)+(-6) &= -(13+6) & (8) \quad (-46)+(+37) &= -(46-37) \\ &= -19 & &= -9 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (9) \quad (+45)+(-74) &= -(74-45) \\ &= -29 \end{aligned}$$

1章 正の数・負の数学習プリント⑥「少数，分数の和」

小学校の復習（少数と分数の計算）

(1) $0.3 + 0.8$ (2) $2.4 - 1.5$ (3) $\frac{2}{7} + \frac{4}{7}$

ヒント：分母が異なるときはどうするのかな？

(4) $\frac{4}{5} - \frac{2}{5}$ (5) $\frac{1}{4} - \frac{1}{8}$ (6) $\frac{1}{2} + \frac{2}{5}$

問1 次の計算をなさい。

(1) $(+0.9) + (+2.3)$

$= \square (\square + \square)$

$= \square \square$

(2) $(-1.4) + (+0.6)$

$= \square (\square - \square)$

$= \square \square$

(3) $\left(+\frac{3}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right)$

$= \square (\square - \square)$

$= \square \square$

(4) $\left(-\frac{3}{4}\right) + \left(-\frac{2}{3}\right) = \left(-\square\right) + \left(-\square\right)$

$= \square (\square + \square)$

$= \square \square$

問2 次の計算をなさい。

(1) $(-5.1) + (-7.5)$

(2) $(-0.6) + (+0.9)$

(3) $(+5.27) + (-8.16)$

(4) $\left(-\frac{6}{5}\right) + \left(-\frac{3}{10}\right)$

(5) $\left(+\frac{7}{8}\right) + \left(-\frac{13}{12}\right)$

(6) $\left(-\frac{3}{7}\right) + \left(+\frac{19}{6}\right)$

ポイント（加法の計算法則）

(1) 加法では、 $\square + \bigcirc = \bigcirc + \square$ のように、計算の順序を入れかえることができる。これを加法の 法則という。

(2) 加法では、 $(\square + \bigcirc) + \triangle = \square + (\bigcirc + \triangle)$ のように、計算の組み合わせをかえることができる。これを加法の 法則という。

1章 正の数・負の数学習プリント⑥「少数、分数の和」解答

小学校の復習（少数と分数の計算）

解説

$$\begin{array}{lll} (1) \quad 0.3 + 0.8 = 1.1 & (2) \quad 2.4 - 1.5 = 0.9 & (3) \quad \frac{2}{7} + \frac{4}{7} = \frac{6}{7} \\ (4) \quad \frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5} & (5) \quad \frac{1}{4} - \frac{1}{8} = \frac{2}{8} - \frac{1}{8} = \frac{1}{8} & (6) \quad \frac{1}{2} + \frac{2}{5} = \frac{5}{10} + \frac{4}{10} = \frac{9}{10} \end{array}$$

問1

$$\begin{array}{ll} (1) \quad (+0.9) + (+2.3) & (2) \quad (-1.4) + (+0.6) \\ = \boxed{+} \left(\boxed{0.9} + \boxed{2.3} \right) & = \boxed{-} \left(\boxed{1.4} - \boxed{0.6} \right) \\ = \boxed{+} \boxed{3.2} & = \boxed{-} \boxed{0.8} \\ (3) \quad \left(+\frac{3}{5} \right) + \left(-\frac{1}{5} \right) & (4) \quad \left(-\frac{3}{4} \right) + \left(-\frac{2}{3} \right) = \left(-\frac{\boxed{9}}{\boxed{12}} \right) + \left(-\frac{\boxed{8}}{\boxed{12}} \right) \\ = \boxed{+} \left(\frac{\boxed{3}}{\boxed{5}} - \frac{\boxed{1}}{\boxed{5}} \right) & = \boxed{-} \left(\frac{\boxed{9}}{\boxed{12}} + \frac{\boxed{8}}{\boxed{12}} \right) \\ = \boxed{+} \frac{\boxed{2}}{\boxed{5}} & = \boxed{-} \frac{\boxed{17}}{\boxed{12}} \end{array}$$

解説

先に「通分」をしておかないと、絶対値の大小を比べられないね。

問2

解説

$$\begin{array}{ll} (1) \quad (-5.1) + (-7.5) = -(5.1 + 7.5) & (2) \quad (-0.6) + (+0.9) = +(0.9 - 0.6) \\ = -12.6 & = +0.3 \\ (3) \quad (+5.27) + (-8.16) = -(8.16 - 5.27) & (4) \quad \left(-\frac{6}{5} \right) + \left(-\frac{3}{10} \right) = -\left(\frac{6}{5} + \frac{3}{10} \right) \\ = -2.89 & = -\left(\frac{12}{10} + \frac{3}{10} \right) \\ & = -\frac{15}{10} = -\frac{3}{2} \\ (5) \quad \left(+\frac{7}{8} \right) + \left(-\frac{13}{12} \right) = -\left(\frac{13}{12} - \frac{7}{8} \right) & (6) \quad \left(-\frac{3}{7} \right) + \left(+\frac{19}{6} \right) = +\left(\frac{19}{6} - \frac{3}{7} \right) \\ = -\left(\frac{26}{24} - \frac{21}{24} \right) & = +\left(\frac{133}{42} - \frac{18}{42} \right) \\ = -\frac{5}{24} & = +\frac{115}{42} \end{array}$$

裏面へ続く...

ポイント（加法の計算法則）

- (1) 加法では、 $\square + \bigcirc = \bigcirc + \square$ のように、計算の順序を入れかえることができる。これを加法の **交換** 法則という。
- (2) 加法では、 $(\square + \bigcirc) + \triangle = \square + (\bigcirc + \triangle)$ のように、計算の組み合わせをかえることができる。これを加法の **結合** 法則という。

解説

この計算法則は、小学校のときにも出てきた。

例) $2 + 3 = 3 + 2$ （加法の交換法則）， $(2 + 3) + 4 = 2 + (3 + 4)$ （加法の結合法則）

「加法の」と付けなければいけない。それはなぜか？考えてみよう。

1章 正の数・負の数学習プリント⑦「減法」

ポイント

ひき算のことを といい、その結果を という。

復習（ひねくれ言葉）

(1) 「 -6 より $+10$ 小さい」は「 -6 より 大きい」と同じ。

(2) 「 -8 より -3 小さい」は「 -8 より 大きい」と同じ。

これらを式で表すと...

(1) $(-6) - (+10) = (-6) + (\text{ })$

(2) $(-8) - (-3) = (-8) + (\text{ })$

お！「減法」が
「加法」になった！

例題

(1) $(-6) - (+10) = (-6) + (-10)$

加法になおす $= \text{ } \quad \quad \quad$ 符号を変える

(2) $(-8) - (-3) = (-8) \text{ } (\text{ })$
 $= \text{ }$

減法は、符号を変えて
加法にすればOK！

問 次の計算をなさい。

(1) $(+5) - (+8)$

(2) $(+6) - (+2)$

(3) $(-12) - (+4)$

(4) $(+3) - (-7)$

(5) $(-5) - (-11)$

(6) $(-8) - (-8)$

(7) $(-3) - 0$

(8) $0 - (+6)$

(9) $(+16) - (+31)$

(10) $(-27) - (-18)$

1章 正の数・負の数学習プリント⑦「減法」解答

ポイント

ひき算のことを **減法** といい、その結果を **差** という。

解説

「差」という言葉は日常でも使うね。

復習（ひねくれ言葉）

(1) 「 -6 より $+10$ 小さい」は「 -6 より **-10** 大きい」と同じ。

(2) 「 -8 より -3 小さい」は「 -8 より **$+3$** 大きい」と同じ。

これらを式で表すと...

(1) $(-6) - (+10) = (-6) + (\text{ })$

(2) $(-8) - (-3) = (-8) + (\text{ })$

お！「減法」が
「加法」になった！

解説

ここで「ひねくれ言葉」が生きてくるとは！

例題

(1) $(-6) - (+10) = (-6) + (-10)$

加法になおす

-16

符号を変える

(2) $(-8) - (-3) = (-8) + (\text{ })$

-5

減法は、符号を変えて
加法にすればOK！

解説

「加法」ができれば「減法」もできるということだね。

問

解説

(1) $(+5) - (+8) = (+5) + (-8)$
 $= -3$

(2) $(+6) - (+2) = (+6) + (-2)$
 $= +4$

(3) $(-12) - (+4) = (-12) + (-4)$
 $= -16$

(4) $(+3) - (-7) = (+3) + (+7)$
 $= +10$

(5) $(-5) - (-11) = (-5) + (+11)$
 $= +6$

(6) $(-8) - (-8) = (-8) + (+8)$
 $= 0$

(7) $(-3) - 0 = -3$

(8) $0 - (+6) = 0 + (-6)$
 $= -6$

(9) $(+16) - (+31) = (+16) + (-31)$
 $= -15$

(10) $(-27) - (-18) = (-27) + (+18)$
 $= -9$